

3日は、ひなまついの献立です。

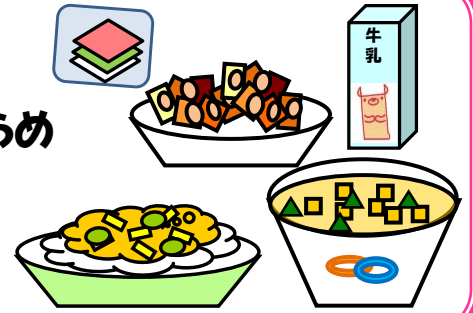


ちらしずし 牛乳

だいずと小ざかなのごまからめ

てまいふのすまし汁

ひしもち



3月3日は「ひな祭り」です。3月は桃の花が咲く季節であることから「桃の節句」ともいいます。春の訪れを喜び、子どもたちの健康で幸せな日々が末永く続くことを願う日として、昔から日本で大切にされてきた行事です。

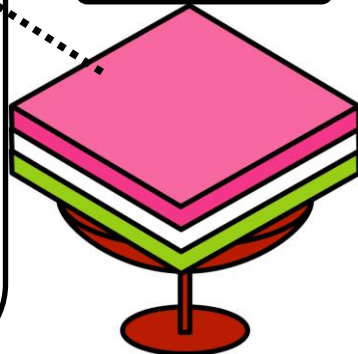
<ひなまついのごちそう>

ひしもちの上段は、「桃の花」をあらわし「まよけ」を意味しています。

中段は「残雪」や「雪解け」などを連想させる白色で、「清浄」を表します。

下の段は「芽吹き」の緑色で、「健康」を意味します。

ひしもち



桃色のあられは「命」、白色は「雪の大地」、緑は「木々の芽吹き」を表しています。この3色のあられを食べることで自然のエネルギーをもらって健康に成長できますよという願いが込められています。

ひなあられ



ちらしずし



白酒(しろざけ)



みりんともち米、米こうじで作った甘く濃く白いにごりのあるお酒。

この季節、潮干狩りで採れる貝です。一対の貝がらだけがぴったりと合い、ほかの貝がらとは形が決して合わないことから、「おとなになって、よい相手と出会えますように」という意味をこめて使われます。

春の味をたくさん盛りこんだおすし。

はまぐりの潮汁(うしおじる)